

7.標準単価ファイル

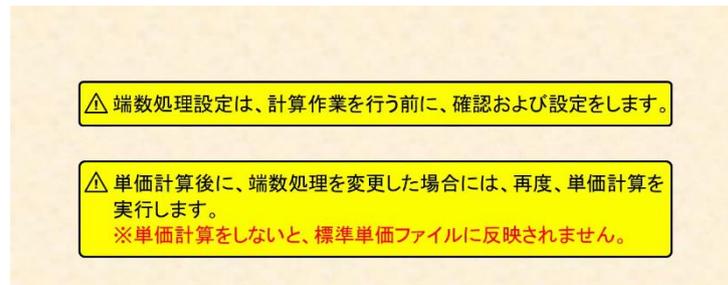
⑥端数処理

a.標準単価ファイルの端数処理設定を確認する(1)

標準単価の端数処理設定を確認します。

実際には、計算作業を行う前に確認及び設定をします。

また、単価計算後に端数処理の設定を変更した場合には、再度単価計算を実行します。
単価計算をしないと、変更した端数処理設定は、標準単価ファイルに反映されません。



① それでは「ファイル」メニューをクリックします。



② 「端数処理」をクリックします。



画面左上の「細目別内訳及び別紙明細に計上する単価の端数処理」ボックスでは、単価計算時の決定単価欄や、補正率欄に「1.0」以外の値を入力した場合の決定単価欄の端数処理設定をします。



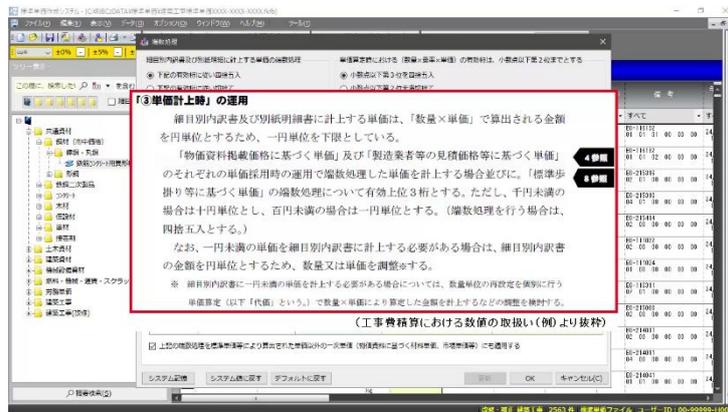
画面右上の「単価算定時における数量かける乗率かける単価の有効桁は、小数点以下第2位までとする」ボックスでは、歩掛りファイルの歩掛り内訳行の金額欄に対して、小数点以下第3位を四捨五入するか、切り捨てするかを選択します。



「有効桁設定」タブでは、端数処理をした際の有効桁数を設定することができます。



端数処理のデフォルト値は国土交通省公表の「工事費積算における数値の取扱い（例）」に定められた内容となっています。必要に応じて修正します。



③ ここでは端数処理設定を変更しません。
キャンセル(C) をクリックします。

